

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月23日

【評価実施概要】

事業所番号	4570600249		
法人名	社会福祉法人ひまわり会		
事業所名	永寿園グループホームひなたぼっこ		
所在地	宮崎県日向市大字富高343-1 (電話) 0982-54-1646		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年12月18日	評価確定日	平成21年1月23日

【情報提供票より】 (平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 8年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤	3人, 非常勤4人, 常勤換算3人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		780 円

(4) 利用者の概要(平成20年11月1日現在)

利用者人数	6名	男性	名	女性	6名	
要介護1	2	要介護2	2			
要介護3	0	要介護4	1			
要介護5	1	要支援2	0			
年齢	平均	83歳	最低	71歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	和田病院、協和病院、鮫島病院、千代田病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の中の賃貸住宅をグループホームに改築している。利用者がこれまで生活してきた環境に近く落ち着いて安心して生活できる雰囲気を出している。利用者や職員の穏やかで温もりのある明るい表情が印象的である。「まちの井戸端!ひなたぼっこ」を目標に掲げ、自治会に加入し、地域行事へ積極的に参加したり、利用者が地域のいきいきサロンに参加すると共に今年度は2回ホームでサロンを開催している。職員も地域との関係を意識し、近隣の方々への声かけやあいさつを心がけ地域とのつながりを強めている。AED(自動体外式除細動器)を設置したことも地域へ発信し緊急時に活用できるように取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議には区長、民生委員、地区消防団の方がメンバーに入っており、いきいきサロンの責任者にも働きかけを行っている。市の介護保険課にも相談するなど連携が取れており、いきいきサロンの様子が掲載されたホーム便りを市に配布している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	責任者が自己評価票の素案を作り、全職員で意見を出し合い検討して作成している。自己評価に取り組むことが、気づきや振り返りの機会となっている。また、サービスの質の向上につなげている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	平成20年度の目標や運営推進会議の運営規約説明を行い、意見を出していただいた。AED(自動体外式除細動器)を設置し地域の方々の緊急時にも役にたてるよう実施手順や使い方を勉強している。防災マニュアルの見直しが必要との意見に対応している。法人の納涼祭や地域の盆踊りへの参加案内がされ、行事へ参加している。献立について法人内の管理栄養士の評価を報告している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪時や毎月の利用料を持参していただいた時に家族の意見や要望、不安を聴く機会を設けている。家族の訪問が困難な場合は、電話での対応や職員が家族を訪問して対応することもある。職員が担当制で対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、行事には積極的に参加している。地域のいきいきサロンにも3人の利用者が参加し、サロンの会場として今年度2回場を提供をして、地域の方が気軽にホームを訪問できるような働きかけを行っている。職員は近隣住民への声かけやあいさつを心がけ、地域の方や近隣住民からも温かい声かけやあいさつがあり、お茶や野菜をいただくなど地域との連携がとれている。災害時の援助もお願いしている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして「まちの井戸端!ひなたぼっこ」を目標に、長期・短期計画を策定し地域に開かれたグループホームを目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をミーティングやカンファレンスの機会に管理者と職員で確認し、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、地区の行事に積極的に参加している。地域のいきいきサロンにも利用者が参加し、ホームをサロンの会場として提供し交流が深まっている。AED（体外式除細動機）の設置を地域に発信し、緊急時に対応できる体制にある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、全員で取り組むことで見直しや気づきの機会をとらえ、評価を生かして具体的な改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	区長や民生委員や地区消防団の方など地域の方や行政の方も参加され、運営推進会議は2か月に1回開催されている。そこで出された意見を検討課題としてとらえ、サービス向上に生かしている。来年度は、社会福祉協議会の参加が予定されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課の担当者とも連携が取れており、サービスの質の向上に取り組んでいる。いきいきサロンの様子を掲載した便りを市にも配布し、事業所の取り組みを伝えることができている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月便りを発行し、担当職員が日常生活の報告書を添えて家族に渡している。毎月の利用料を持参してもらい、報告の機会としている。来ていただけない場合は、電話や郵送で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の状況に応じた対応を心がけ、家族との信頼関係の構築に努めている。また、第三者機関があることを知らせている。要望等はミーティングに活用し、家族等の意見を運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ここ2年半は職員の異動はなく、なじみの関係が作られている。異動がある場合は利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会等に積極的に参加できる体制ができている。法人内の研修には、勤務以外の職員は参加をしている。雇用形態に関わらず業務内で外部研修に参加し受講している。2か月に1回のホームの勉強会で研修報告を行い研修内容を職員で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日向地区のグループホームの管理者会に参加し、交流を兼ねた勉強会を行っている。県北グループホーム連絡協議会に管理者以外の職員も参加し、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するため、待機者との交流会を企画し、職員・他の利用者や、場の雰囲気になじめるよう家族と相談しながら工夫をしている。交流会の回数を増やす努力をしている。利用者の生活歴を把握し、家族を巻き込んだなじみの関係を構築するよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識ではなく、共に過ごし支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を日々の関わりの中で把握するように努めている。困難な場合は、本人の行動や表情、家族の思いを聴いて検討している。担当制で利用者一人ひとりに関心を持ち適切なアセスメントを行なうよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状にあった介護計画を作成している。毎月のミーティングで介護計画を検討している。職員は雇用形態にかかわらずアセスメントを行ない、意見交換やモニタリング、カンファレンスに参加している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のミーティングで検討し、現状に即した介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や外出の支援を行っている。敬老会、クリスマス会、ふれあい運動会等法人の行事の企画に参加し、利用者の参加支援を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族等の希望を大切にし、掛かりつけ医の通常の受診は職員が同行して支援している。週3回透析に行かれる方は、家族が同行されるが、留意点をもらさないようホームも医療機関との連絡を密にしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム入居時や、体調の変化時には重度化や終末期のあり方について本人、家族と話し合いを持ち方針を共有している。重度化した場合でも、できるだけ長くホームで生活できるように配慮している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っている。一人ひとりの人格を尊重した声かけや対応を行っている。職員の意識の向上に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、本人の希望に沿った支援を行なうように努め、柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食材を買いに行ったり、テーブル拭きやできる範囲で調理・後片づけを職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯は決まっているが、本人の希望に沿った柔軟な対応も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援を行っている。季節の行事、餅つきや祭り等、楽しみに参加している。外出の希望や地域の行事参加を支援している。	拭き掃除・食器洗い・洗濯物干しやたたみ等利用者ができることをすることで、一人ひとりの力を生かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援を行っている。季節の行事、餅つきや祭り等、楽しみに参加している。外出の希望や地域の行事参加を支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員が特別養護老人ホームの事務所に業務日誌を届ける時や、買い物に行く時に一緒に外出している。午後からは日課として散歩に出ている。外出の希望に沿って柔軟に対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の床にセンサーを設置してあるが、日中は鍵をかけず、見守りや声かけを行ない自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2か月に1回避難訓練を行なっている。運営推進会議に区長、消防団の方々が参加しており協力をお願いしている。近隣の方々にも声かけを行ない協力を得られるよう働きかけを行っている。マニュアルを作成し特別養護老人ホームと連携がとれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士に献立表のチェックを依頼し評価を受けている。必要な方の記録や大まかな摂取量の把握はできている。	○	食事や水分摂取状況を把握し、飲食量の低下した場合の個別支援の基礎となるように記録し、職員が情報を共有するためのチェック表の活用をお願いしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は利用者にとって快適に過ごせるように配慮され、ベランダから芝生の広い庭へ出て、花や家庭菜園を楽しむことができる。常に見守りの必要な方が居間で生活されているが他の利用者が共に過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや好みのもの、仏具等を持ち込み、本人が居心地よく暮らせるような工夫がされている。		

※  は、重点項目。